

新型コロナウイルス感染症感染拡大予防マニュアル

このマニュアルは、第21回東京都障害者スポーツ大会バレーボール競技(身体部門)を開催するにあたり、新型コロナウイルスの感染拡大を予防するために、主催者が講じる対策の概要を示すとともに、選手及び競技運営関係者等が感染を防ぐ為の共通理解を持っていただく事を目的に作成した。

参考

- ・公益財団法人日本スポーツ協会・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会
「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」(令和2年5月29日改訂)
- ・スポーツ庁「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」(令和2年5月25日改訂)
- ・公益財団法人日本バレーボール協会「JVA バレーボールガイドライン」(令和2年7月7日更新版)
- ・公益財団法人東京都バレーボール協会
「大会等再開に向けた新型コロナウイルス感染症予防対策ガイドライン」(令和2年7月29日第2版)
- ・大分車いすマラソン2020新型コロナウイルス感染拡大予防マニュアル

大会への参加を認める基準

選手及びスタッフ等(競技役員等)については、下記(1)から⑤までの基準に1つでも該当する場合、大会への参加を認めない。

- (1)大会当日に、体調管理チェックシートを提出できない場合
- (2)(1)の体調管理チェックシートにおいて、直近の2週間に、新型コロナウイルス感染症の疑い症状が見られる場合
- (3)大会当日時点で、新型コロナウイルス感染症患者の濃厚接触者として、行政から自宅待機を要請され、健康調査が行われている者
- (4)大会当日の受付において実施する検温の結果、37.5度以上又は平素の体温よりも高いと認められる場合
- (5)その他、大会への参加が不相当であると大会事務局が判断した場合
選手、スタッフ等いずれにおいても、高齢者や基礎疾患を有する者については、新型コロナウイルス感染症に感染した際の重症化リスクが高い旨を認識してもらい、参加の同意を得る。

大会に関わる方が留意すべきこと

(1)共通事項

- ・「密閉空間」、「密集場所」、「密接場面」(以下、「3密」と言う。)を避けた行動を徹底すること。
- ・こまめな手洗いや手指消毒を行い、手を清潔に保つこと。
- ・マスクを着用し、咳やくしゃみをする際は、咳エチケットにより飛沫を飛ばさないようにすること。
- ・大会開催の2週間前から終了後2週間にかけて、体調管理チェックシートを活用した体調管理及び検温を徹底すること。開催前2週間分の体調管理チェックシートについては、大会当日、受付で提出すること。※提出前に、提出するデータをコピーまたは写真に撮り、自身でも保管すること。
- ・大会終了後、2週間以内に疑い症状が見られた場合には、医療機関(かかりつけ医等)への相談・受診を行い、新型コロナウイルス感染症の感染が確認された場合、速やかに大会事務局に報告すること。(大会事務局:03-6265-6001)
- ・大会前後において、複数名での会食等は控えること。
- ・公共交通機関を使用する際は、マスクの着用や、ソーシャルディスタンスの確保等の感染対策を徹底すること。
- ・会場にはゴミ箱を設置しないので、ゴミは各自で持ち帰ること。

(2)選手

- ・手荷物等、他者が触れる可能性がある持ち物は、こまめに消毒すること。
- ・試合に出場する選手以外は、マスクを着用すること。
- ・ウォームアップは個別に行うこと。またマスク着用時以外の選手同士の会話は控えること。
- ・他の選手との握手やハイタッチ、抱擁等の接触を行わないこと。

(3) 競技役員

- ・マスクもしくはフェイスシールドを着用すること。
- ・用器具の共用はできるだけ避けること。やむを得ず使用した場合は用器具や手指の消毒を行うこと。
- ・混雑防止のため、ウォームアップエリアへの立入は最小限にすること。

感染拡大防止に向けた大会運営の方法

(1) 観戦及び応援の自粛

会場となる駒沢オリンピック公園体育館(以下、会場と言う。)においては、選手及び大会役員等を除き、無観客とする。

(2) 開閉会式及び表彰式の簡略化

開会式及び閉会式、表彰式は実施しない。

(3) 健康状態の管理

- ・選手(介助者を含む)、競技役員等、全ての大会関係者は、大会開催の2週間前から「体調管理チェックシート」を用いた健康管理および検温を行い、大会開催前2週間分の体調管理チェックシートについては、当日の受付において提出すること。
- ・体調管理チェックシートが提出されない、又は適切に健康管理がされていないと大会事務局が判断した場合、大会への参加を認めない。
- ・提出された体調管理チェックシートにおいて、1つでも疑い症状が見られる場合、もしくは体調管理チェックシートの確認と併せて行う検温において、37.5度以上又は平素の体温よりも高熱であると認められる場合、大会への参加を認めない。

場面ごとの感染予防策

(1) 共通事項

- ・「3密」を避け、ソーシャルディスタンスを確保した動線を設定する。
- ・全ての大会関係者に対し、常時(選手においては、ウォームアップを含む競技中を除く)マスクの着用を義務付ける。
- ・選手と密接に関わるスタッフ等は、フェイスシールドを併用する。また各種受付等、選手とスタッフ等が対面で接触する場所には、アクリル板等を設置する。
- ・各所に消毒用アルコールを設置し、こまめな手指消毒を呼びかける。
- ・選手、競技役員等への当日説明は最小限とし、人が密集する時間の低減を図る。